

<平成 28 年度秋季大会ミニシンポジウム>

## 水産分野におけるタンパク質研究の現状と展望

日時・場所：平成 28 年 9 月 8 日（木） 9:00-12:00 近畿大学農学部

企画責任者：落合芳博（東北大院農）・石崎松一郎（海洋大院）・福島英登（日大生物資源）

- |             |                           |                 |
|-------------|---------------------------|-----------------|
| 9:00－ 9:05  | 開会の挨拶                     | 渡部終五（北里大海洋）     |
|             |                           | 座長：尾島孝男（北大院水）   |
| 9:05－ 9:35  | 1. タンパク集談会の歴史と功績          | 石崎松一郎（海洋大院）     |
| 9:35－10:05  | 2. 水産生物タンパク質に関する基礎研究の変遷   | 落合芳博（東北大院農）     |
| 10:05－10:35 | 3. 利用加工分野におけるタンパク質関連研究の変遷 | 福島英登（日大生物資源）    |
| 10:35－10:45 | 休憩                        |                 |
|             |                           | 座長：豊原治彦（京大院農）   |
| 10:45－11:10 | 4. 研究機関での取組み事例など          | 大村裕治（水産機構中央水研）  |
| 11:10－11:35 | 5. 食品企業での取組み事例など          | 植木暢彦（鈴廣かまぼこ）    |
| 11:35－11:55 | 総合討論                      | 座長：福島英登（日大生物資源） |
| 11:55－12:00 | 閉会の挨拶                     | 加納 哲（三重大院生資）    |

### 企画の趣旨

水産生物のタンパク質は畜肉のものに比べ不安定で種特異性も高いため、貯蔵や加工の際にはタンパク質の性状にもとづいた特別の配慮が必要である。水産生物を対象としたタンパク質研究の歴史は古く、これまで多くの研究者により業績があげられ、有用な知見が累積されてきた。しかし未解明な点も多く残さ

れているのが実状である。本シンポジウムでは、これまで日本水産学会を中心に行われてきた研究活動を振り返り、今後に向けた研究の方向性を探ることにより、水産分野におけるタンパク質研究の振興に資することを目的とする。

提案日:平成 28 年 2 月 10 日

希望開催年月日:平成 28 年 9 月 8 日

提案者:氏名(所属) e-mail: 落合芳博(東北大院農)

連絡先: [yoshihiro.ochiai.d1@tohoku.ac.jp](mailto:yoshihiro.ochiai.d1@tohoku.ac.jp)

水産学シリーズ出版希望の有無 : 有・無

平成 28 年度秋季水産学会でのミニシンポジウムの開催を希望